

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
26						産科システム	
26	1					基本要件	
26	1	1				基本機能	
26	1	1	1			医療情報システム・画像ファイリングシステムと連携し、各システムの情報を取得し各種書類を患者単位に作成・管理・印刷・保存する機能を有すること。	○
26	1	1	2			各文書・記録画面のメニュー構成を自由に設定することができること。	○
26	1	1	3			多胎のデータを胎児数によらず制限なく管理できること。	○
26	1	1	4			患者単位で周産期毎のデータ切り替えが容易に行えること。	
26	2	1	1			ヘッダー表示	
26	2	1	2			患者情報表示エリアには、患者ID、患者氏名、フリガナ、年齢、血液型(RH)が表示できること。	○
26	2	1	3			周産期情報エリアには、分娩予定日、妊娠週数、主治医、胎児情報が表示できること。	
26	2	1	4			分娩予定日には予定日の仮決定/本決定フラグを表示する機能を有すること。	
26	2	1	5			前後の周産期記録を容易に閲覧できること。	
26	2	1	6			患者情報表示エリア、周産期情報表示エリア以外に書類に記載した任意の情報を表示する機能を有すること。	
26	2	1	7			周産期に対し、「GBS」や「ハイリスク」等のタグを表示する機能を有すること。また、任意の内容のタグを自由に作成することが可能なこと。	
26	3	1	1			周産期編集	
26	3	1	2			周産期情報(決定種別、初診日、分娩予定日、予定日確定方法、最終月経日、排卵日、計画分娩日、分娩方針、生理周期、主治医)を登録および管理する機能を有すること。	
26	3	1	3			分娩予定日の変更履歴閲覧画面(分娩予定日、確定方法、分娩方針、計画分娩日、決定フラグ、コメント、登録者、登録日時)を有すること。	
26	3	1	4			胎児情報(名称、性別、胎児病名)を登録および管理する機能を有すること。	○

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
26	3	1	5			胎児に対し、医療情報システムの患者ID付番機能を有すること。	
26	3	1	6			周産期に対して任意のタグを付与する機能を有すること。	
26	4	1	1			書類作成	
26	4	1	2			書類作成システムにおいて作成した書類を入力フォーマットとして利用でき、様々な文書をシステムに追加することができること。	○
26	4	1	3			入力フォーマットの変更を自由に行うことが可能なこと。	○
26	4	1	4			HISから各種項目が取得可能なとき、それらのデータを引用して書類作成ができる機能を有すること。	○
26	4	1	5			作成した文書の入力履歴を参照できる機能を有すること。	○
26	4	1	6			複数回記録を行う文書において、前回作成文書の引用が可能で、効率的に記録の作成ができること。	○
26	4	1	7			他の作成文書にて入力されたデータを指定の項目へ引用し、効率的に記録の作成ができること。	○
26	4	1	8			パルトグラムのデータを指定の項目へ引用し、効率的に記録の作成ができること。	
26	4	1	9			アプガースコアの点数を指定の項目へ引用し、効率的に記録の作成ができること。	
26	4	1	10			経過時間や酸素吸入量などの計算を自動で行う機能を有し、効率的に記録の作成ができること。	
26	4	1	11			入力したデータについて任意の項目を抽出し、二次利用できる機能を有すること。	
26	4	1	12			入力したデータをエクスポートし、日本産婦人科学会指定の統計フォーマットへ取り込むことができる機能を有すること。	
26	4	1	13			一時保存と登録機能を有し、登録時には外部システムへの送信が可能なこと。	○
26	4	1	14			作成した文書記録を印刷できる機能を有すること。	
26	4	1	15			患者および周産期単位にて、同種類の書類を複数回記載できる機能を有すること。	○

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
26	4	1	16			出生届、死産届を作成することができ、作成した書類を印刷する機能を有すること。	
26	4	1	17			入力必須項目が空だった場合、書類確定時に警告する機能を有すること。	
26	4	1	18			画像貼付けオブジェクトに画像をファイル(jpg、bmp、png)またはクリップボードで取り込む機能を有すること。	
26	4	1	19			画像貼付けオブジェクトに取り込んだ画像に描画を行う機能を有すること。	
26	4	1	20			作成した文書は複数種類を一括印刷できる機能を有すること。	○
26	4	1	21			作成した文書の版管理機能を有すること。	
26	4	1	22			文書登録時にその内容により自動で任意のタグを付与する機能を有すること。	
26	4	1	23			文書単位で登録済みのテキストを一括コピーする機能を有すること。	
26	5	1	1			妊婦健診・スクリーニング	
26	5	1	2			患者、周産期、胎児毎の経過記録データを保存し、参照できる機能を有すること。	
26	5	1	3			入力したデータを時系列で表示する機能を有すること。	
26	5	1	4			経過記録の結果をエクセル形式で出力し、二次利用できる機能を有すること。	
26	5	1	5			SRデータの取得が可能で、計測値の入力が容易に行えること。	
26	5	1	6			JSUMより公表されている計算方法に則り、BPD、EFBW、AC、FLのSD値を自動計算する機能を有すること。	
26	5	1	7			妊婦健診画面にて入力されたデータを分娩週数に対する成長曲線としてグラフ化し、参照できる機能を有すること。	
26	5	1	8			画像ファイリングシステムに登録された画像をキー画像として取り込むことができ、時系列表示できること。	
26	5	1	9			経過記録結果の文字サイズを三段階で選択することができ、ユーザー毎に設定保存できること。	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
26	5	1	10			経過記録結果の時系列の表示形式を縦横で切り替えることができ、ユーザー毎に設定保存できること。	
26	5	1	11			胎向・胎盤のシェーマを選択して貼り付けることができること。	
26	5	1	12			多胎データの経過記録を一度に参照することができ、表示する胎児を絞り込むことができること。	
26	5	1	13			母体/胎児の検査項目について経過記録に表示する項目が切り替えられること。	
26	5	1	14			経過記録の検査項目を自由に設定することができること。	
26	5	1	15			妊婦健診はピショップスコアに対応し、入力した値を元に合計スコアを計算する機能を有すること。	
26	5	1	16			ユーザ単位で表示する検査項目のセットを設定することができること。	
26	6	1	1			パルトグラム	
26	6	1	2			患者、周産期毎の分娩時記録をグラフ形式のパルトグラムで登録できる機能を有すること。 また、登録したデータの編集、削除機能を有すること。	○
26	6	1	3			パルトグラムの記録を医療情報システムへ送信する機能を有すること。	
26	6	1	4			経膈分娩や人工中絶等、分娩方法により入力する内容を切り替えることが可能なこと。	
26	6	1	5			入力項目の表示順やレイアウトを自由に設定できること。	○
26	6	1	6			グラフと計測値、所見を纏めて俯瞰できる画面と、グラフ拡大画面、所見参照画面の切り替えが容易に行え、所望のデータが明瞭に参照できること。	
26	6	1	7			胎児毎のデータについてはグラフに表示する胎児を絞り込むことができること。	
26	6	1	8			複数パルトグラムの記録が保存可能であり、それらを容易に切り替えて表示できる機能を有すること。	
26	6	1	9			パルトグラムの記録を印刷できる機能を有すること。	○

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
26	6	1	10			入力画面はスクロールやタッチ操作を中心とした入力機能で構成され、タブレット入力しやすい設定であること。	
26	6	1	11			ユーザ単位で表示する検査項目のセットを設定することができること。	○
26	6	1	12			胎児心拍数モニタリングのスコア入力機能を有し、入力した記録をパルトグラムで閲覧できる機能を有すること。	○
26	6	1	13			「破水」や「陣痛開始」からの経過時間を表示することができること。	○
26	6	1	14			フリードマン曲線を表示する機能を有すること。	
26	7	1	1			成長曲線	
26	7	1	2			妊婦健診画面にて入力されたデータを分娩週数に対する成長曲線としてグラフ参照できる機能を有すること。	
26	7	1	3			表示するグラフは、経過記録の項目より自由に指定できること。	
26	7	1	4			多胎の成長曲線データが一度に参照でき、表示する胎児のデータを容易に指定することができること。	
26	7	1	5			グラフ上でスクロール操作を行うことにより、拡大・移動操作が行えること。	
26	7	1	6			成長曲線のデータを医療情報システムに送信する機能を有すること。	
26	7	1	7			成長曲線のデータを画像ファイリングシステムへ送信する機能を有すること。	
26	7	1	8			基準曲線により胎児の発育状況を視覚的に確認することが可能なこと。	○
26	7	1	9			成長曲線のデータを印刷できる機能を有すること。	○
26	8	1	1			アプガースコア	
26	8	1	2			アプガースコアを記録する機能を有すること。	
26	8	1	3			1分、5分、10分の点数が胎児毎に記録・参照できること。	
26	8	1	4			アプガースコアの記録を医療情報システムへ送信する機能を有すること。	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
26	8	1	5			アプガースコアの記録を画像ファイリングシステムへ送信する機能を有すること。	
26	8	1	6			アプガースコアの記録をカルテ入力支援システムへ送信する機能を有すること。	
26	8	1	7			アプガースコアの記録を印刷できる機能を有すること。	
26	9	1	1			妊娠歴	
26	9	1	2			過去の妊娠歴を参照する機能を有すること。	○
26	9	1	3			過去の妊娠情報を追加・編集・削除できる機能を有すること。	○
26	9	1	4			過去の妊娠歴を医療情報システムへ送信する機能を有すること。	
26	9	1	5			過去の妊娠歴を画像ファイリングシステムへ送信する機能を有すること。	
26	9	1	6			過去の妊娠歴をカルテ入力支援システムへ送信する機能を有すること。	
26	9	1	7			過去の妊娠歴データを印刷できる機能を有すること。	
26	9	1	8			過去の妊娠歴データより、経妊回数、経産回数を自動計算し、各画面へ引用することが可能なこと。	
26	10	1	1			胎児病名管理機能	
26	10	1	2			胎児病名選択画面から選択した病名情報を児に登録する機能を有すること。	
26	10	1	3			胎児病名選択画面では、検索ワードで該当する病名リストを絞り込む機能を有すること。	
26	10	1	4			胎児病名選択画面で選択された病名情報に対し、主病名、疑い、開始日、終了日、転帰情報を登録する機能を有すること。	
26	10	1	5			一度登録された病名情報に対し、編集および削除機能を有すること。	
26	11	1	1			履歴機能	
26	11	1	2			患者、周産期毎に各文書の入力履歴を参照できる機能を有すること。	○
26	12	1	1			統計機能	
26	12	1	2			任意統計	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
26	12	1	3			カルテ入力支援システムにて入力したデータについて任意の項目を統計し、有効的に二次利用できる機能を有すること。	
26	12	1	4			分娩日・分娩予定日・入院日による期間検索が可能で、抽出したデータをCSV出力する機能を有すること。	
26	12	1	5			CSV出力する項目を任意に指定することができ、指定した内容を保存して再利用できる機能を有すること。	○
26	12	1	6			検索条件を任意に指定することができ、指定した内容を保存して再利用できる機能を有すること。	○
26	12	1	7			日産婦統計	
26	12	1	8			入力したデータをCSV出力し、日本産婦人科学会指定の統計フォーマットへ取り込むことができる機能を有すること。	
26	12	1	9			分娩日による期間検索が可能で、抽出したデータをCSV出力する機能を有すること。	
26	13	1	1			台帳機能	
26	13	1	2			分娩日による期間検索が可能で、抽出したデータを一覧表示できる分娩台帳機能を有すること。	○
26	13	1	3			分娩台帳で抽出されたデータを帳票として出力できる機能を有すること。	○
26	13	1	4			分娩台帳で抽出されたデータをCSV出力する機能を有すること。	○
26	14	1	1			分娩予定カレンダー	
26	14	1	2			分娩予定月または計画分娩月で期間を選択し、カレンダー形式またはリスト形式で日付別に分娩予定件数を表示する機能を有すること。	
26	14	1	3			分娩予定カレンダーで検索された、分娩予定日または件数を選択することで、該当日に分娩する予定の患者一覧が表示される機能を有する。患者一覧には、患者ID、患者氏名、年齢、妊娠週数、胎児数、主治医、分娩方針が表示できること。	
26	14	1	4			分娩予定カレンダーで検索された患者一覧から、対象患者の周産期情報編集画面を起動し、周産期情報の編集ができる機能を有すること。	
26	14	1	5			分娩予定カレンダーで検索された患者一覧から、対象患者のカルテ入力支援システムを起動して、各種周産期記録を閲覧できる機能を有すること。	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
26	14	1	6			分娩予定カレンダーで検索された患者一覧を印刷できる機能を有すること。	
26	14	1	7			分娩予定カレンダーから分娩台帳画面を起動できる機能を有すること。	
26	15	1	1			ポータル機能	
26	15	1	2			患者の身体情報、生活習慣情報、パートナー情報、検査結果の情報を表示する機能を有すること。	○
26	15	1	3			妊婦健診、スクリーニング、保健指導、カルテ入力支援システムで入力された過去の診察歴を表示することができ、対象の診察歴のリンクをクリックすることで該当の診療記録を呼び出す機能を有すること。	
26	15	1	4			各文書の作成情報を一覧で確認できる機能を有すること。また、未記載、一時保存、確定のステータスおよび最終更新者の情報を表示する機能を有すること。	○
26	15	1	5			各文書で入力した情報をポータルで閲覧する機能を有すること。	
26	15	1	6			基本情報、パートナー情報、検査結果、診察歴、記録情報などの各画面は本体から切り離し、画面を並べられる機能を有すること。	
26	15	1	7			ポータルに最新の情報を表示するため、開いたまま一定時間経過すると自動更新する機能を有すること。	
26	15	1	8			ポータル画面に表示する項目やレイアウトは自由に変更することが可能なこと。	
26	16	1	1			リーディングリスト	
26	16	1	2			各患者のカルテ入力支援システムの画面よりリーディングリストへ登録する機能を有し、カンファレンス等で利用することが可能なこと。	
26	16	1	3			リストには患者氏名、患者ID、分娩予定日、週数、コメント、登録日、リスト登録者を表示できること。	
26	16	1	4			各リストに対して、任意でコメントを追加・修正・削除する機能を有すること。	
26	16	1	5			リーディングリストに表示された患者リストから対象患者のカルテ入力支援システム画面を呼び出す機能を有すること。	
26	16	1	6			目的別にリストグループを作成する機能を有すること。	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
26	16	1	7			リストグループは個人、診療科、病院共通、任意ユーザといった単位で閲覧権限を設定する機能を有すること。	
26	16	1	8			リストを印刷する機能を有すること。	
26	17	1	1			外部システム連携	
26	17	1	2			HISで管理されている患者情報・感染症・禁忌・入院情報等を指定したエリアに自動で入力できること。	
26	17	1	3			上位システムとの連携により取得した検査画像やシェーマなどのデータを指定したエリアに取り込む機能を有すること。	
26	17	1	4			入力した文書、グラフなどを医療情報システムへ送信する機能を有すること。	
26	17	1	5			入力した文書、グラフなどを画像ファイリングシステムへ送信する機能を有すること。	
26	17	1	6			入力した文書、グラフなどをカルテ入力支援システムへ送信する機能を有すること。	
26	17	1	7			他診療科から本システムを起動し、閲覧モードで参照および印刷ができる機能を有すること。	
26	18	1	1			分娩監視装置連携	
26	18	1	2			分娩監視装置から血圧、脈拍、SPO2の数値情報が連携された場合に、パルトグラムに自動で描画する機能を有すること。	
26	18	1	3			CTGビューアを起動する機能を有すること。	
26	18	1	4			患者属性情報を分娩監視装置に送信できる機能を有すること。	
26	19	1	1			その他機能	
26	19	1	2			操作ログを出力する機能を有すること。	○
26	20	1	1			簡易登録ツール	
26	20	1	2			ログイン画面を有し、利用施設指定のユーザーID及びパスワードにてログインの認証が行えること。	
26	20	1	3			参照、登録、アップロード・ダウンロード等の権限を有し、ユーザー毎にこれらの権限レベルを指定できること。	
26	20	1	4			患者情報登録機能を有し、一度登録した患者情報は患者IDによる検索が行えること。	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
26	20	1	5			妊婦健診の入力、編集、削除が行えること。	
26	20	1	6			連携内容の範囲内において、入力画面のレイアウト変更等が自由に行えること。	
26	20	1	7			ファイル選択、クリップボードコピーによる画像の選択入力ができること。	
26	20	1	8			多胎の妊婦健診データ入力が行えること。	
26	20	1	9			登録された患者情報及び妊婦健診データを他端末においても参照できること。	
26	20	1	10			登録された妊婦健診データを一覧表示する機能を有すること。	
26	20	1	11			利用施設毎に表示する項目を変更できること。	
26	20	1	12			健診日の日時と、分娩予定日より妊娠週数を自動表示する機能を有すること。	